



VANILLA LEAF
Design & Construct



MEET 出会い

人と出会う、モノと出会う、感覚と出会う。出会うものはさまざまですが、何に出会っても、出会ったことで昨日とはちょっとだけ違った今日がはじまります。

「ちょっとだけ違う」ってところが大事なのだ、とヴァニラリーフは考えています。

ある施主がヴァニラリーフの店に尋ねてこられました。ヴァニラリーフの店内はいろいろなものがあります。

雑貨、アクセサリ、そしてドアノブやタイルなどの建築素材も。 そのなかで、メキシカンボールが施主の目にとまりました。

手書きの模様がかわいいメキシカンボールは、施主とヴァニラリーフの出会いとなりました。

「こういう雰囲気に包まれる空間を創りたい」という施主の話聞くうちに、住宅を施工することになりました。

私たちは出会いをととても大切だと思っています。

そして、自分が惹きつけられる何かと出会うまで諦めないことが大切だと思っています。

家族や地域文化を大切に思い、そこで暮らすことを決めた施主にとって、わが家が、あるいは

その土地で構えた店舗が自慢したくなる場所であるために、ヴァニラリーフが提案したいのは、「五感で感じる心地よさ」です。

たとえば、伸びやかな空間と無駄のない動線、そして素材の質。

それらは動作や手触り、陽射しや風の流れとして空間の居心地の良さを生み出す要素です。

ヴァニラリーフは空間、動線、素材の質を住まい・店舗作りの基本要素として、五感で感じる心地よさを創造しています。

それが、「出会いを発展的に熟成させてゆく住まい」「今も、これからも、ずっと居心地のいい住まい」を創ることだと考えています。

こんな風に、「ちょっとだけ違う明日」を創れる出会いをプロデュースすること。それがヴァニラリーフの仕事です。



発見 FIND

例えば…ワインの似合う空間

ある店のオーナーシェフからの依頼は、ゆっくりワインを飲みながらくつろげる空間にして欲しいというものでした。

古材やアンティーク煉瓦、珪藻土、たたきの土間、自然素材で内装を仕上げ、外部は石、土、鉄等、無垢材を使いました。

料理を楽しみ、日常とはすこし違った雰囲気を楽しむ場所には、落ち着きと安心感があります。

でも、店舗ですから、それプラス、「わあっ」と思わせる仕掛けが欲しい。

その仕掛けのひとつとして、色ガラスのおもしろさを加えました。入り口のドアに使ったアンティークドアの厚み75ミリを利用して、内側に照明を入れ、ガラススタイルを貼りました。暮れなずんだ街にガラススタイルの光が漏れてステキです。

安心感は、本物の素材が与えてくれます。だからヴァニラリーフは本物を選びたい、と考えています。





経年変化

経年変化を楽しむ。それこそが「あこがれの家を創る」ということだと思います。

すべての物は風化し、姿を変えていきます。しかしその変化には美しさ、面白さがあります。それに気づくことは、きっと暮らす楽しさの発見につながると思います。

以前に建てたお宅に久しぶりに、お伺いしました。

外壁、建具、色んな物が数年の月日のなかで、とても良い感じになってきていました。染み一つなかった床も、壁も、真っ白だったタイルの目地も、それなりになじんだ色合いになっていました。渋さが出てきた、という表現がぴったりです。

「建てた時よりも、今が好き」その言葉が示すのは、住む人と一緒に、家も、素材も成長してゆき、完成されていくということだと思います。

すきなこと

「どんな風に家を建てたらいいのかわからない」というお話をよく聞きます。それを聞き出して、形にするのはヴァニラリーの仕事です。

施主から「キッチン、きれいにしておくのが好きだ」と聞きました。

「いつもきれいに片付いているキッチンが理想なのだろう」最初はそんなふうを考えていたのです。なんどかお会いして、趣味のお話、毎日の過ごし方などをお聞きするうちに、「掃除をすることが好き」だとわかりました。だったら、掃除は大変だけど、見た目も美しく、使いこなすうちに味のでる、小さな白いタイルを一面にはめ込んだタイルキッチンがぴったりです。あれから3年。白いタイルのキッチンはいつも綺麗に磨かれつつ、いい雰囲気になりました。家は、建てたときがいちばんきれいで完璧なのではありません。家族が住み、なじんでいく過程で、完成されていくものだと思います。



ヴァニラリーのQ & A

Q. 見積もりをお願いする前にしておくことは？

新築でもリフォームでも、どこをどのようにしたいのかイメージしてください。(キッチンを新しくしたい。リビングを広くしたい。子供部屋を増やしたい。デザインをフレンチスタイルにしたい。自然素材を使いたい。断熱住宅にしたい、等)具体的でなくてもかまいません。

お見積もりは、イメージをお聞きし、現地調査をさせていただいたうえで、出しますが、ご予算に合わせたご提案もいたします。**相談するとき必要なものは**、ご自分のイメージに近いもの、例えば、雑誌の切り抜き、使いたい素材のパンフレット等があれば、わかりやすいと思います。

Q. 部分的な工事もしていただけますか？

はい。キッチンだけ、洗面所だけなど、一部のみのリフォームもご相談ください。

Q. 新築の場合、どれくらいの費用が必要ですか？

自然素材、無垢の木等をふんだんに使って施行した場合、坪単価60万円～70万円程度が目安になります。でも、コストをかける場所にメリハリを利かせて、坪単価50万円くらいで施行することも可能です。仕様や、条件で費用も異なりますし、ご予算内でご提案することもできます。お気軽にご相談ください。

Q. キッチンや浴室などをリフォームすると、どのくらい費用がかかりますか？

オーダーキッチン、輸入セミオーダーキッチン共食洗機を取付た場合では、120万円から200万円くらいが目安になります。でも、50万円台から250万円くらいまで仕様や機能によってさまざまなケースがあります。浴室もユニットでなければ100万円くらいが目安になります。洗面所は20万円から40万円くらい。こちらも仕様によって異なります。ご希望のスタイルに合わせて、デザイン、素材(無垢材、石、タイル等)選びから、ご提案します。



SURPRISE 創造

住宅も店舗も、ヴァニラリーフの建築・施工の基本姿勢は同じです。

「あこがれの的を創る」ことです。

たとえばお友達を招きたくなる家だとか、大好きな人を連れて行きたくなる店だとか。

「ステキ」と思わせる何かがあるのです。その何かは、笑顔を生み出すサプライズ。

「ほ・は・へ」（ほう、はあ、へえ）の創造があることだと考えています。

ただ、住宅と店舗では、笑顔を生み出すサプライズの仕掛けや表現の仕方が少しだけ違います。

住宅の場合は、長年住み続けることを基本としますから、飽きのこないサプライズが必要です。

店舗の場合は、客が脱日常性をも楽しみに来る空間ですから、少し大胆な発想で、

サプライズを生み出すことも仕掛けます。



自由×自由な空間

あこがれの的を創ることは、空間を活かすことでもあります。たとえば、用途に応じて、部屋を分ける方法もあれば、大きな一つの部屋を、動線で多目的に使える部屋にすることもできます。

ヴァニラリーフは生活の変化にも対応しやすく、家族が共有できる空間を作りたいと考えています。

たとえば、和室とダイニングキッチンであった場所を改装して一つの空間にし、対面式のアイランドキッチンを使うことでキッチンスペースを、テーブルやソファの配置を工夫することでリビングやダイニングスペースを創り出しました。

after



before



また倉庫を住宅に改装した例では、大きな吹き抜けと広い踊り場を設けました。吹き抜けは縦の開放感と一体感を生み出します。

広い踊り場は一階から二階への動線でもあります。たとえば読書コーナーであったり、のんびりくつろぐ場所であったり、子どもたちの遊び場であったり。使い方は自由です。



たたき

ヴァニラリーフが創るたたき風の床にはさまざまな表情があります。ある店舗の床では、上品な仕上がりをめざしたかったので、土間仕上げを選択しました。

入り口部分は路地をイメージして、敷石、飛び石を配置し、足を進めるごとに期待感を盛り上げる仕掛けです。奥にいくほど墨入りのたたきを用いて、やや暗めの色に仕上げました。

黒めの砂2分（6ミリ）ぐらいの黒砂利を撒いて、墨モルタルで押さえてから拭き取ります。モダンな和風の表情を持ったエントランスになりました。

イタリアンレストランでは洋風たたきに仕上げました。

たたきは、セメントと白セメント、砂に小石を混ぜ、ベンガラ（黄、赤）で着色し、表面をふき取ります。この仕上げ方だと本当のたたきより風化に強く施工が簡単で、コストを抑えて施行できます。

そこに大理石のモザイク乱貼りの石を所々に埋めます。埋め込まれた石が単調な表面にリズムをつけ、華やいだ雰囲気プラスしてくれます。



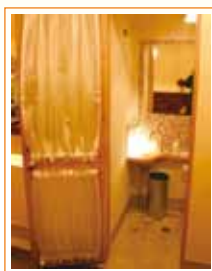
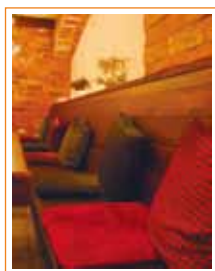
ファブリック

あこがれの的になる要素はいくつかありますが、そのひとつは少し贅沢なファブリックです。

たとえば、窓にムースシェードをつけました。生地はイタリアのルチアノ・マルカートです。ラメ糸が上品なアクセントになり、とてもお洒落です。

クッションはフランスのCASAMANCEのものを選びました。ドット、ストライプ、千鳥というシンプルなモチーフなのですが、CASAMANCEが作るとなんとともかわいらしくて小粋な表情を醸し出します。

さりげなく使うところがいい、と思います。



隠し部屋がある店

楽しくなるサプライズのとっておきは、隠し部屋を創った例です。

隠し部屋への入り口は、普段は壁に設けられた木製の飾りドアにしか見えないのですが、そのドアを倒すと、隠し部屋が現れるのです。倒されたドアは踏み板となります。ドアの取っ手は踏み板の脚です。強度も安定性も十分。

この隠し部屋は、たとえば、大好きな人のためのパーティーに、あるいは小さなお子さん連れの家族が落ち着いてディナーを楽しむための部屋として使われるかもしれません。

居るだけで楽しくなれるサプライズを創造すること。それがヴァニラリーフの提案する「あこがれの的」の秘訣です。

CREATIVE 工夫

さまざまな工夫は素材の魅力を知ることから始まります。

惚れ込んだ素材、自然素材。使いたい素材はたくさんあります。でも、ただ使うだけでは施主が自慢できる空間は生まれません。

デザインが必要です。たとえばアンティーク煉瓦をスライスしたタイルを使う場合でも、壁全面に貼っては興ざめです。

古材の梁や白い珪藻土の壁など、他の素材との相性。重すぎずかわいすぎず、个性的であって居心地のいい空気感。

ポイントは素材の魅力を生かすデザインとバランスです。



古材

経年変化による美しさと存在感を備えている素材。

古材は、よく乾燥しているのて狂いませし、長年使われ、人に触られ、すすに燻されたりしているのて、使われてきた場所、木の種類によっていろんな表情があります。民家に使われていた大きな梁や柱には、長年家を支えてきた力強さが感じられます。

タイル

タイルは雰囲気！ というのが私の持論です。

タイルはメンテナンスが大変だとか、目地がすぐよごれると言って敬遠されがちですが、アレンジの仕方、貼り方でいろんな表情が出せます。

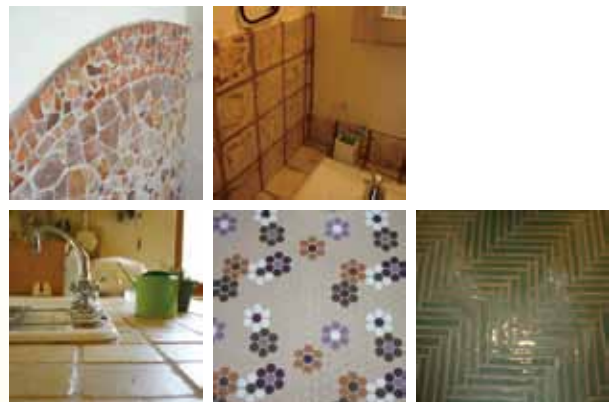
タイルと一口でいっても、その種類たるや無数にあります。そのなかでも、釉薬をかけて焼き上げたタイルは魅力的です。たとえばグリーン

の釉薬をかけて焼き上げられたタイル。一つひとつ色が違います。

微妙に焼きむらがあるので。それが最大の魅力かもしれません。

貼り合わせるとそれだけで何とも言えない空気感を漂わせてくれます。

こんなすてきな表情を見せてくれるなら、目地をきれいに掃除するくらい平気だ、という施主にはお奨めしたい素材です。



アイアン

昔ほどの村や町にも一件ぐらゐ鍛冶屋があつて、調理金物から、農機具、建築金物まで、必要な物を作ってくれたり修理してくれてゐたと聞きました。

ヴァニラリーフでは、何人かの鍛造作家に、デザインを起こして作ってもらいます。鍛造は一つひとつ鍛えて作るのて、作家の手の温もりが強烈に伝わる個性の強いアイテムです。同じデザインで同じサイズでも作家が変わるとまたイメージが違います。それが面白いのてです。

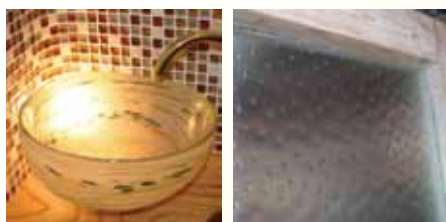
でも、工場で作るアイアン製品を使わなゐわけではありませぬ。それどころか、よく使うアイテムのひとつです。質が均一で、価格が手ごろなことが魅力です。たとえば、門扉や大型ゲートなどは工場で作るアイアンが最適だと思ひます。

適材適所といひますが、まさに建築は適材適所を心得ることが大事だと思ひます。

たとえばコストコントロールやメンテナンスのしやすさからサッシのドアを使い、ドアノブの部分は鍛鉄を作家に依頼する。使い方を工夫すれば、適当なコストで、望みの表情が作り出せると思ひます。



ガラス



昭和30～40年代のころは、日本にもいろんな模様の型板ガラスがありましたが、今は数種類しかありません。精度の良いガラスはあっても、趣のあるものが少ないのは、少し寂しいです。一目惚れして買い求めたガラスは外国製のアンティークのドアにはまっています。割れたら二度と手に入りません。

でも、そのはかなさ、あやうさは、愛おしさにつながります。心地よい住まいは、選ばれた素材を愛し続ける住み手が創りあげるものでもあります。

珪藻土

珪藻土で仕上げた壁は、壁自身が室内の湿度を調節する、いわば呼吸をします。つなぎの糊も化学的に合成したものではなく、海藻を原材料とした天然素材を使います。化学合成材料が原因になるシックハウス症候群とは無縁の安全な素材です。

塗り方によって和洋どちらの空間にもマッチする仕上げの自由度があります。素朴な表情も、シャープでやや冷たい表情も、多様な風合いが出せるのも魅力です。

ヴァニラリーフは珪藻土の施工実績が多く、お奨めしたい素材のひとつです。



木

木は魅力的な素材です。感触も、表情も、住み手とともに変化し、時間のなかで磨かれていきます。一方で水に弱いという弱点を持っています。もちろん種類によって硬さは異なります。たとえばスギやパインは柔らかいので床材に好まれますが、傷がつきやすい木材です。また桜や檜は硬くて傷には強いのですが、冷たい印象を与える場合もあります。

どの木をどこに使うか。生活スタイルや好みに適した木を選ぶことが大切です。

本来ならバスルームのドアや洗面所のカウンターに木を使うのはお奨めしないのですが、施主の強い希望で使いました。でも、じつはヴァニラリーフも気に入っている仕様なのです。

しかし、水回りに木を使うには条件があります。定期的なワックスをかけることが必要です。バスルームのドアは塗料が剥げないように年に1回は塗り替えなければなりません。

このお宅の施主はワックスがけとドアの塗り替えを欠かさず、楽しんで続けているので、洗面所のカウンターもワックスが染みこみ、いい味がでてきました。こうなれば少々水がかかっても腐食することはありません。

ヴァニラリーフは使いやすくて経済的な天然ワックスや塗料もオリジナルで作りました。



オリジナル ナチュラルウッドワックス

無垢材を多く使うヴァニラリーフでは、安心してお手入れしていただけるように、自然素材のみでワックスを作りました。このワックスは、蜜蝋・カルナバワックス・亜麻仁油・荳蔻麻油(えごまゆ)で作った、地球環境と体に優しい天然の内装用ワックスです。無垢のフローリングや木製のテーブル・椅子・ドア等に自然な艶を与え、防水や汚れ止めの効果があります。化学物質は一切使用しておりませんので、小さなお子様のいるご家庭でも安心してお使いいただけます。

大切なのは一緒に創っていくこと。

あこがれのお店も、自慢したくなる家もお客様の声を聞いて初めて創れるものなのです。

ヴァニラリーフには「聞く耳」があります。「好奇心と創造力」があります。あこがれを形にする前に、ヴァニラリーフで「夢」を聞かせてください。

「こうしたら良かったんだ」という答えを探すのはヴァニラリーフの得意分野です。

いっしょに、あこがれの形を探しながら、ちょっと自慢したくなる空間を創りましょう。

ヴァニラリーフは一人ひとりのあこがれを形にする建築デザイン・施工をするお店です。

<http://www.vanillaleaf.com> ぜひ、ホームページをご覧ください。



施行までのすすめ方

■ ご来店いただくか、ご指定場所におうかがいしてのミーティング

ご案件についてのイメージやご希望をお聞きかせいただくところからはじまります。
あくまでも住むひとの視点を大切に、素材・デザイン・設計・施工のプロとして、
ごいっしょに考えさせていただき、おおまかなアウトラインをご提供します。
「こんなふうにするとうくらいくらいかかるの？」
「このくらいの予算でこんなことできるの？」などの「？」にもお答えします。

■ 現場や周囲の状況を確認し、寸法計測

ラフプランと概算見積り作成のための作業です。
それぞれの現場にあわせてのアイデアがあれば再度のミーティングに反映させていただきます。

■ ラフプランのご提案と概算見積り作成

■ 細部をつめたミーティングを経て設計図面と詳細見積り書作成



■ 正式なご契約をいただき、現場施工実施

完成・お引き渡しまで責任をもって現場監理施工いたします。

キャンセルの場合でも無料

諸経費分のキャンセル料が発生

有限会社ヴァニラリーフ 【設立】1997年12月 【資本金】1500万円 【従業員数】4名 【建設業許可番号】(般-16)第35881号



VANILLA LEAF
Design & Construct

<http://www.vanillaleaf.com>

〒603-8052京都市北区上賀茂松本町15番地ニュー北山ビル1F TEL& FAX 075-791-1606 OPEN 11:00-19:00 水曜定休日